

竹下復興大臣「第6回東北子どもまちづくりサミット」挨拶
(ビデオレター)

(平成27年5月5日(火) 於：仙台国際センター)

ご挨拶

みなさん、こんにちは。復興大臣の竹下亘でございます。

セーブザチルドレン、そして子どもまちづくりクラブの皆さん方の日々の努力に心から敬意と感謝を表すものです。

被災から4年余りが経ちました。まだまだ、ほんとにまだまだやらなければならないことがたくさんございますが、政府として何が何でも東北復興するんだ、そして、東北の底力を世界に示すんだという意欲をもって、これからも懸命に取り組んでいく決意でございます。

そのなかで、皆さん方が今回第6回になる東北子どもまちづくりサミット、夢のまちづくりということサブタイトルにして活動していらっしゃることを力強く感じております。皆さん方お一人お一人がお持ちの夢をぜひふるさとで花咲かせて頂きたい。そして、そのことを地域の活性化に、地域が元気を取り戻すことに役立てていただきたいと、心から願うものであります。皆さん方お一人お一人の行動が大人たちも励ましますし、そして、皆さん方よりさらに若い子ども達への励ましへもつながっていくものと確信を致しております。

人のために汗をかく、ということは人間形成にとって非常に大事なことであり、そのことは、時に苦しくもありますし、時に厳しくもありますが、時にものすごく楽しいことでもあることは、こうした夢づくりに取り組んでいる皆さん方が、まさに今、日々体験していらっしゃるのだと、感じる次第でございます。大人になってからもあの時の苦労、あの時の厳しさ、そして一緒に汗を流した仲間たち、そうした人と人とのつながり、これが人生において必ず大きな宝物になってくれると確信を致しております。

このサミットを通じまして、今までやってこられたことをしっかりと見つめなおし、何ができるか、これから何をしたいこうかと、夢あふれる思いをどんどんぶつけていただきたい。その活動に我々大人たちもしっかりと支援をしていかなければならない。未来は君たちのものなんです、未来は君たちが創っていくものでもあります。

サミットが大成功に終わること、そして、さらなる活力につながることを心から祈念しましてごあいさつと致します。がんばってくださいね。そして、しっかりと汗をかいてください。

ありがとうございました。

(以 上)